

令和4年度 保護者による評価「家庭と学校の教育ふりかえアンケート」《結果》

〈回答選択肢〉A:よくできている・とても感じる、 B:できている・感じる
C:あまりできていない・あまり感じない、 D:できていない・全く感じない

	調査項目	A+B	%	C+D	%
1	お子さんは、安心して登校している様子ですか。	79	93%	6	7%
2	お子さんは、友達のことを家で話しますか。	71	84%	14	16%
3	お子さんは、授業のことを家で話しますか。	45	53%	40	47%
4	お子さんは、自分のことが自分でできるようになってきましたか。	70	82%	15	18%
5	お子さんは、家の手伝いや仕事を責任をもって行っていますか。	59	69%	26	31%
6	お子さんは、家庭や地域で挨拶ができますか。	77	91%	8	9%
7	お子さんは、人に何かをしてもらった時に「ありがとう」と言っている。	80	94%	5	6%
8	お子さんに、家庭学習(予習や復習)の習慣が身についてきましたか。	73	86%	12	14%
9	お子さんに、家で読書する習慣がありますか。	41	48%	44	52%
10	お子さんは、ふるさとの人のふれあいや自然、文化、歴史等を楽しんでいる様子ですか。	62	73%	23	27%
11	ご家庭では、お子さんが自分からしたことに「ありがとう」「うれしいよ」「挑戦できたね」など、声をかけていますか。	82	96%	3	4%
13	ゲームや動画視聴、SNS、メール等使用するときの約束を決めたり、内容や使用状況を確認したりしていますか。	74	87%	11	13%
16	学校が「たくましい子」を育てようとしていることを感じる。	66	78%	19	22%
17	学校が「考える子」を育てようとしていることを感じる。	71	84%	14	16%
18	学校が「思いやる子」を育てようとしていることを感じる。	72	85%	13	15%

* 肯定的な回答(A+B)が80%以上のものは青色に、50%以下のものはピンク色に、着色した。

III 考察（成果○ 課題●）

○家庭での児童について肯定的な回答が80%を超える項目は、評価が高い順に次の通りである。

- ・児童が自分から行動したことに「ありがとう」「うれしいよ」「挑戦できたね」等声をかけている。
- ・人に何かをしてもらった時、「ありがとう」と言っている。
- ・安心して登校している様子である。
- ・家庭や地域で挨拶ができる。
- ・ゲームや動画、SNS、メール等の使用の約束を決めたり内容や使用状況を確認したりしている。
- ・家庭学習(予習や復習)の習慣が身についてきた。
- ・友達のことを家で話す。
- ・自分のことが自分でできるようになってきた。
- ・学校の教育目標に向かう取組では、「思いやる子」「考える子」育成について、80%を超える評価となった。

○家庭・学校・地域が一緒になって取り組んだことが、家の中でも児童の姿として現れている。自分から行動すること（主体性）、「ありがとう」の気持ちを伝えること、挨拶で人とつながること、SNSとの上手な付き合い方、学習習慣、自分の思いを話すこと、自分のことは自分でできるようになること等、連携してこそ実現する内容で、大きな成果であると思う。

●「家の手伝いや仕事を責任をもって行っている」が69%、「ふるさとの人のふれあいや自然、文化、歴史等を楽しんでいる様子」が73%の肯定である。当番や係の仕事を責任をもって行っている児童が多く、また、地域の方々とのふれあいを楽しみ、地域のよい所を見つけている児童が圧倒的に多いという学校での事実と比べると、その差が大きい。

●「授業のことを家で話す」児童は半分いる。もう半分の児童も話したくなるような授業を目指す必要がある。「家庭で読書する習慣がある」児童は半数以下である。家での読書習慣については、家では読まない児童が半分以上いる。「続きを読むたい」「読書が楽しい」と思う児童が増えるよう、今まで一工夫を加えて読書に親しむ取組を継続する。

●課題については、学校と家庭の双方向の理解を進め、成果を出せた上記の項目のように、連携を強化していきたい。

令和4年度 「家庭と学校の教育活動のふりかえりアンケート」まとめ

お忙しい中、書いてくださったご意見をまとめました。お読みください。

アンケートの自由記述欄に寄せられた意見

「お子さんが自分から考え・行動するようにご家庭で心掛けていること」

- ・親が先回りしてやらないように、声かけして行動できるようにしています。
- ・親が先に答えをださないように考えさせています。
- ・自分の失敗は自分で直させる。
- ・困った時、話を聞き、どうしたらよいか一緒に考える。自分で選べるよう、（選択肢が増えるように）こんな考えもあるよと伝える。子どもの考えたことや行動を応援する。
- ・自分で飼うと決めた生き物の世話を通して主体的に行動できるよう、声をかけています。
- ・時計を見て行動するようにしています。
- ・やりたい事知りたい事を何が必要か、どういう方法があるか自分で調べられる様、声を掛けけています。
- ・ヒントを与えて見守る様にしている。
- ・まずは子どもの話や思いを聞く。・子供の言っている事をよく聞く。
- ・アドバイスをしたり先に私がやってみたりしている。
- ・まずは話を聞く。見通しが持てるよう、選択できるようにして話す。
- ・見守る。待つ。あまり口出しをしない。
- ・自分でできてすごいね、早くできたねと声をかけると次にやる気が出ているようです。
- ・時計を見て行動することを伝えている
- ・予定帳や時間を自分で見て、確認するように伝えている。
- ・声をかけすぎない 指示を出さずに、事実を伝えるように努めている。先に答えを言わないように見守っているつもりです。
- ・親が地域の仕事をする姿を、子供に見てもらうこと
- ・学校から帰って来た瞬間に学校での出来事を話してくれる事が多いので（2人一気に）、メモを取って話を聞くようにしています。落ち着いてから そういえば今日さ、とメモを頼りに詳しい話を聞き出しています。頭ごなしに否定せずに、まず自分はどうしたのかを聞くようにしています。
- ・あえて、こちらから「〇〇しなさい」ではなく、「次何をしないといけないのかな？」と自分から行動するように促す。
- ・「やりなさい。」と言うことももちろんありますが、なるべく「何するの？」と聞くようにしているつもりです。
- ・「相手が何をしたら喜ぶか」を考えて行動してくれるように、大げさに褒めたり喜んだりしています。
- ・どうしたらいいか聞かれた時に、どうしたらいいと思うか聞いてみている。
- ・自分で考えて行動できているので、心がけている事はありません。
- ・自分でできる事は、自分でやらせるようにしている。
- ・先まわりせずに自分で気づくようにとは気をつけて見守っていますが、どうしても先に言ってしまう事が多いので、そうならないよう心がけています。
- ・何かお手伝いをお願いしたり自分からやってくれたりした時に、「とっても助かったよ、ありがとう。」と伝えている。
- ・自分で考えて遊ぶ時間を、たくさん取る。
- ・次にやるべきことを何時何分から始めるか子供に決めさせ、行動させています。
- ・マナー悪く毎日同じ事をするけど、こちらも毎日、ダメな事を気をつけるように言い続ける。
- ・みんなの動きを見て行動している様な感じがしたので、時計を見るようには最近声を掛けています。何時までに出掛けたいから、何分までに準備を終わらせてね。クラブの準備など、自分で何が要るか考えて少しずつ時間も気にするようになってきました。
- ・すすんでしてくれたことに、「すごいやん！」とか「ありがとう！」と声をかける。なにげなく。大げさにはしていません。
- ・子どもの気持ちを聞き どうしたらよいか話し合うことを 心掛けている。
- ・見守る姿勢でいること。・本人の言動を、見守るようにしている。
- ・本人の意志を聞き出そうと、声かけをしている。・手伝い過ぎない。
- ・自分から動けないので、いつも声をかけている。

- ・特にないが、よくやっている。 感心する。
- ・あまりうるさくしない 失敗してもまず見守る。 失敗が悪いことじゃないと伝える。
- ・まず見守る。困った時は「助けて欲しい、手伝って欲しい。」と言えるようにする
- ・親があまり先回りしすぎないよう気をつけています。
- ・時々してくれる手伝いには、「助かったよ、ありがとう。」と伝えたり、肩たたきに対しては「気持ちよかったですよ、楽になったよ。」と感謝を伝えたりしている。
- ・考える時間を作つてあげる。
- ・どう思っているか、何を感じているかを考えて表現できればと思っている。こちらから問い合わせることで考える機会を作る。
- ・何でも話す、やってみる、見守る。
- ・大人が答えを最初に言わない。「熱いから危ないよ。」「こっちの方が近いよ。」等々熱いことを知る経験、こっちが近いことを知る過程が楽しい！ よそ様に迷惑をかけることは口をだすが、多少の怪我ぐらいは問題ないと考えています。よそ様に迷惑をかけることがあれば親子共々、謝り、反省して一緒に進んでいく。怪我をしないように気をつける経験が楽しいし、生きる力につながる気がします。
- ・やってごらんと、声を掛けて出来るまで見守る。
- ・何でも挑戦させてみる。失敗も大事な経験。
- ・自分で考える力を付けるため、答えを教えることは無く、アドバイスだけで留めておく。
- ・何か相談されても、すぐに親の意見を言わないなど。
- ・先回りして声をかけすぎない。あまり手を出しすぎない。毎日のルーティーンを決める。
- ・口を出さず見守り、タイムリミットが来たらヒントを出す 自分でやる約束のことは手を出さない。
- ・私が先に指示をしちゃわないように自分で気づいて行動出来るように見守りていきたいと思います。子供扱いしないで一人の人間として上から目線ではなく接していきたいなと思っています。
- ・自分の準備は自分でするように話しています。姉を見本に頑張っています。
- ・誰が今何をしてほしいか、次にすることに必要なことは何か、必要なお手伝いは何かを考えて動けています。こちらが何も言わなくてもやれています。このまま続けてほしいです。

「この子にはこの力を付けたい」と力を入れていること

《命を守る》

- ・手洗い、うがい、手指消毒、車道を自転車で走る時に車が来たら止まる等を伝えている。
- ・ニュースを見て事件を知ったら、対処法を家族で話し合います。
- ・外で歩いたり遊んだりする時など、車や川、様々な危険性について話す機会を作っている。
- ・ニュースで悲しいニュースが流れた時に、こうするとこういう危険があるということを伝える。もし、危険な目にあってしまった場合の対処方法も話しておく。
- ・こういうことは危ない、なぜ危ないか、などよく言い聞かせている
- ・常に命の大切さを話しています。
- ・危ないことをしたときは、何故危ないのか、考えさせるようにしています。

《体づくりをする》

- ・なかなか体重が増えない事を気にしているので、好き嫌いなく食べる事やバランスよく食べる事など気をつけています。間食をあまりしないようにする。
- ・野菜中心でバランスのよい食事を心がけている。夕食前にお菓子を与えない。
- ・よい睡眠と食事、ウォーキングの会に参加する。
- ・体力作りのために、体を使う習い事に通つたり遊んだりしています。
- ・規則正しい健康的な生活を心がけて体と心の元気をつくる。
- ・朝晩、自主練をしている。
- ・自分で決めた練習をやる、走る、投げる等、途中で諦めないように声掛けをする
- ・夜更かしをしない、朝ご飯はしっかり食べる。

《めあてに向かう》

- ・目標のために今、何をするとよいか一緒に考える。
- ・どんな事も努力すれば少なからず目標へ到達出来ると思います。
- ・本人がどうしたいのか聞いた上で、どうしていったらいいのか考える。
- ・自分の好きなことは得意なことになるので、続けていってほしいなと思います。やりたいことは自分で決めさせています。
- ・スケートではしっかり目標を常に立てて、それを達成するためには何が必要か、何をする

べきかを考えながら、トレーニングしています。

- ・目標は常に持ち、親子で共有して頑張っています。健康でいなければ何もできないのでしっかりとフォローしていきたいです。

《あきらめない》

- ・科学や理科がすきなので、子供が「やりたい」と言った事に、失敗しながらも一緒に取り組めるようにしている。
- ・やる前からできないと決めつけて泣くことが多いので、一緒にやろうと手伝って、できたねと認める。
- ・あまり兄弟や友達と比べず、本人のがんばりや努力を認める。
- ・失敗をしても何事にも、最後までやりきるよう促している
- ・何でも諦めずにチャレンジし、失敗しても大丈夫と伝え、話し合うようにしています。
- ・最後まで見守る。
- ・がんばる過程が大切だといつも言っています。野球を習っていますが、結果だけではなく努力することが大切だと思うと話しています。
- ・あきらめそうになった時に一緒にやる。
- ・出来なくても、途中で嫌になってしまって、「できっこない」じゃなくて、「やらなきゃ分からない。やってないのに、出来ないと決めつけない。」「諦めたら自分の可能性に限界を作る。」と、何事にも挑戦する気持ちをもってもらえるように取り組んでいます。

《できることを増やす》

- ・同居しているので色々な意見を聞くようにしたり、出来た事は誉めるようにしたりしています。
- ・出来たことはたくさん褒めて、自信がつくようにしています。
- ・生活の基本的なことを繰り返し教える。やりたいということができるようになります。

《解決に向かう》

- ・興味のある事や知りたい事を、自分で調べたり勉強したりできるように、本を借りるなどしている。

《人の考えを聞く》

- ・人の話を聞く事は、常に家の中で声をかけて話しています。
- ・子供の話を聞く(自分が聞いてもらったことで相手の話を聞けるようになると思うため)。「あなたに話しているよ。」ということを繰り返し伝える。

《失敗やピンチを生かす》

- ・間違えたところにこそ学ぶものがあると伝えている。
- ・失敗してもよい、失敗しても大丈夫だと伝える。自分の失敗を話すようにしている。
- ・失敗したりピンチに陥ったりした時に、「これはチャンスだよ！」と声をかけています。
- ・失敗を恐れたり、初めからうまくできない事があると自信をなくしたりする事があるので諦めない気持ちをもって欲しいと願って、声掛けをしています。
- ・私の昔の事をはなして一緒に考える。
- ・本人のレジリエンスを高めていけるよう、時に見守ったり励ましたり、様子を見ながら支えて行きたいと考えています。色々なクラスメイトと、それぞれの距離感でストレス少なく述べられるようになることが理想だと考えるので、よく話を聞くように心がけています。
- ・気持ちを受け止めつつ、思ったようにいかなくとも、違っていても何とかなることを伝える。

《相手の気持ちを思う》

- ・自分(親)が背中を見せるつもりで行動している。
- ・「自分だったら…と考えると、わかることもあるよね。」と話しています。
- ・毎日の中で、何があり、どう感じたかをなるべく話すようにしている。
- ・日頃からそのことについて親子で話し合う。
- ・兄弟喧嘩をした時に、相手がどんな気持ちになっているかを考えるように促しています。
- ・姉妹でトラブルになったら、その都度しっかり考える。
- ・ケンカした時に両方の話を聞いたり、相手がどう思うか考えたりするようにしています。
- ・言葉を使わない生き物の気持ちを自然な流れで察したり家族で自然に触れたりと、自分の身体で何かしら体験してもらっています。
- ・まずは家族の中で相手の気持ちを考えることを大事にする。兄弟げんかが起きた時などは相手のことを考えてね、と伝えます。
- ・挨拶や、会話を大事にしています。
- ・まずは家の中で、家族を、相手の気持ちを、大事にすることを伝えています。スキンシッ

普も大事にしています。

- ・たくさん本を読むこと。休みの日は少しでも外に出て人と関わること、自信がもてるような声かけ。
- ・相手の良いところを見つけてあげた方が相手も嬉しいと伝える。
- ・本やテレビで見たことについて、感想を伝え合う。

《違いを大切にする》

- ・自分は出来るのになぜ、他の子は出来ないのかというのが許せずにイライラする事が多々ありました。例え話をしながら色々な話をしてきました。6年生になり最近少しづつ、人はそれぞれ違う考えをもっていたり出来る事と出来ない事があるということを、本当に少しづつ理解してくれるようになりました。
- ・1番じゃなくてよい、100点じゃなくてよい、みんな違っていい、努力したという姿勢が大切ということをよく話すことがあります。
- ・心の部分や自分以外を尊重するというのは、努力ではなく常の過ごし方や触れ方で成長するのかなど、感じています。

《仲間と力を合わせる》

- ・友達とのトラブルがあったり繊細な一面があったりしてマイナス思考になりやすいので、自信がつくような声かけをしたいなあとは思っています。

《「ありがとう」を伝える》

- ・子どもがしてくれた事に対して小さな事でも感謝の気持ちを伝えたり褒めたりする事を心がけている。子どもにも、例えば姉妹のやりとりの中で「ありがとう」を言うべき場面で言えていなかったら、その都度声をかける様にしている。
- ・私がしてもらって嬉しかった時に、必ず「ありがとう。」を言うように心がけています。何で嬉しいのかも伝えるようにしています。
- ・「ありがとう。」の気持ちを家族内でも伝えるように心掛けています。
- ・子どもも大人も関係なく、「ありがとう。」を伝え合う
- ・普段から何かしてもらった時は大きな声で「ありがとう。」と言うように伝えています。挨拶も相手に聞こえない意味が無いから、聞こえるように大きな声でと伝えています。
- ・どれも本当に大切なことですよね。あえて選択するなら⑫でしょうか。自分もそう言われて育てられました。そして、それが今の幸せにつながっていると実感しています。家族だけでなく、地域の人たち、先生、仕事をしている人、物や動物達、雨や太陽、森の木々全てに「ありがとう。」の気持ちをもつことが基本だと教えられました。出来れば相手に声に出して伝えることができるといいですね
- ・子供に「ありがとう。」を伝える。
- ・「挨拶をするといいことがたくさんある、ありがとうとごめんなさいは誰よりも早く言おうね。」と教えてあります。
- ・「何をするにも挨拶をする子は愛される。愛される子はスポーツをするにも何をするにもたくさん教えてもらったりたくさん引き出しをあけてもらったりする。挨拶はその人の印象を決めてしまうほど大事なもの。」と教えてあります。
- ・積極的に本人に感謝を伝える

学校の教育活動やご家庭での子育てについて、ご意見ご感想

- ・3つの項目について、具体的に学校の取り組みが把握しにくい。
- ・全てにおいて情報の共有不足。

⇒学校より・・・学校の教育目標：よりよく生きぬく力「たくましい子」「考える子」「思いやる子」を育てる取組については、毎月の学校だよりで、できるだけ具体的にお伝えするように努めてきました。分野別または学年別には、保健だより、学級通信等でも発信しています。ご多忙の中でも読んでいただけるよう、見出しを工夫したり、図や写真を添えたりしていますが、まだまだということだと受け止め、今後も努力いたします。ホームページの発信に不具合が起き、しばらく提供が止まっておりましたが、新システムで再開しました。

今年度は、学級懇談会やPTA総会等をなかなか対面で行うことができず、リアルな双方での情報共有ができなかったことも一因かもしれません。令和5年度は、対面でのやり取りを増やしたいと考えます。

- ・近所の方に会うと、自分から大きな声で挨拶を出来る子に育ってくれていて嬉しいです。宿題に取り組む習慣もいつのまにかついています。読書も、はまるとことん読書をして

います。地元を誇りに思っている事が伝わります。学校のあたたかい教育活動のおかげだと思います。

・好き嫌いがあるので、給食が不安なようですが、それ以外は楽しいみたいです。先生が無理のない程度に頑張らせてくださっているようで「今日はご飯をたくさん食べれた。」等と、頑張った日は嬉しそうに話してくれます。夏休みの特別指導を受けさせてもらい、楽しく頑張れたようでよかったです。大変だろうに個人個人に合わせて対応していただけて助かっています。

・もっと沢山の人との交流があるといいなと思います。子供の将来は、今どんな夢をもち生きているのか、夢が少なくなっているのではないか?と心配になります。コロナ禍で交流は厳しいかもしませんが子供達が笑いながら未来をもっと楽しく想像できるに繋がる交流があつたらいいな。と思います。ありがとうございました。

・同年齢や異年齢で生活したり学んだりできるのは学校だからできることだと思います。上級生が優しく接してくれたことを子どもから聞きます。こういった経験から、思いやりが育ってくれるように願っています。

⇒学校より・・・コロナ禍の中でも、できる範囲で異年齢集団での活動（花の木グループで掃除や昼休みの遊び）を実施しています。また、コミスクのよさを生かして、地域の方に図工や家庭科の技術指導をしていただいたり、地域の文化や歴史、防災を学んだりする機会を大切にしています。その成果を、お子さんの姿から感じておられる様子で、大変うれしいです。今後も個に応じた指導、夢につながる交流、異学年交流を生かした「思いやる子」の育成に努めます。

・学校での学びは、とても成長につながるので大切だと日々感じています。

・今のまま元気に生活してほしいです。

・今のまま前を向いて頑張ってほしいです。

・先生方はよくやっていただいている。とても有難い。これからも宜しくお願ひします。

・非認知能力を高める授業（家庭の協力が大前提で大きく占めるとは認識しています。）・計算だけでなく考える算数（「どんぐりさんすう」面白いですよね。）…こういったものを取り入れてほしいです。

⇒学校より・・・学校の授業では、計算だけでなく、課題をつくる、解き方を考える、思いや考えを伝える、理由を説明する、理由を知ろうとする、という学び方を大切にして指導しています。一人で考える場と仲間と学び合う場のどちらも充実するよう、授業の研究にも取り組んでいます。

・『先生に叱られるから』という理由で取り組むことに違和感を感じる。

・宿題を提出しなくても何も言われない様子。やったにも関わらず提出せず遊んでいる。やるべきことはきちんとやるように徹底して伝えて欲しい。

⇒学校より・・・ご家庭で、学習するよう声をかけたりお子さんと奮闘したりしてくださっていることが伝わってきます。ありがとうございます。学校でも、何のために宿題をやるのか、目指すのは何かと目的や目標意識を持たせてから、お子さんの頑張りを認め励ますようにしています。自主学習についても、お子さんたちはノートの交流会で、どのような自主学習が良いのか学び合っています。また、タブレットを使って、学習支援ソフト（例：e-ライブラリ）等に取り組むこともできます。宿題提出への声掛けが甘い部分については、改めて確認し、改善していきます。

・学校での怪我が生じた際、下校時に先生方の対応がある時とない時があります。実際に虹の階段で捻挫をした際に、上級生による対応があったものの先生方による対応がありませんでした。階段での捻挫で済んだものの、階段から落ちてしまい頭部強打等の救急を要する事態になった時に誰が責任者として対応されるのか。見てないから知りませんではなく子供達が集団で行動をするときにも安全確保をして頂きたいです。

⇒学校より・・・ご指摘ありがとうございます。放課後の捻挫に、対応できていないことがあったこと、お詫び申し上げます。放課後から下校までの時間について、目の届く範囲に大人がいるように体制を整えます。同時に子供たち自身にも、気づいたら近くの大人にすぐに通報する力も付けていきます。

・コロナは仕方ないとしても、他校と思うと水泳の機会が極端に少なく、スイミングも通っていないため、まともに泳げず(わが子の能力も低いとは思います)卒業していくのが心配です。年2回の釜小と他校との教育の機会の差をどう対応して頂けるのか知りたいです。
 ⇒学校より・・・学校に活用できるプールがある学校は、現在、瑞浪小学校・土岐小学校・日吉小学校・陶小学校の4校です。釜戸小学校・明世小学校・稻津小学校の3校はそれぞれ、土岐小・日吉小・陶小に出かけて授業をしています。出かけていく3校については、回数は2回で、1回につき2時間分の学習をしています。回数が少ない分、スイミングクラブの講師3~4人と学校職員2名以上がついて指導していますので、泳力に応じた学習が実現しています。釜戸小学校がプールを使用する土岐小学校では、釜戸小学校が利用する日は、釜戸小学校のみが大小のプールを使用できるよう配慮してくださっています。雨天や高温でプール使用ができなかった場合には、土岐小も使いたい中でも釜戸小に譲ってくださる徹底ぶりです。回数については増やしてもらうよう市へ要望をしましたが、来年度に増えることはかねませんでした。引き続き要望していきます。

釜戸小学校の教育目標

よりよく生きぬく力

たくましい子

命を守る 安全に生きる
体づくりをする 健康に生きる
めあてに向かう 目指すものがある
あきらめない 自分大事にする

考える子

できることを増やす 基礎を習得する
解決に向かう とことん考える
人の考えを聞く 学び合う
失敗やピンチを活かす 前に向く

思いやる子

相手の気持ちを思う 想像力を働かす
違いを大事にする 人権を尊重する
仲間と力を合わせる 温かくつながる
「ありがとう」を伝える 感謝する

保護者の願い（家で特に大事にしていること）

